

災害に向き合う

学び・防ぎ・助け合う

1日目 9月8日(木) 午後7時30分~9時

日本列島で発生する巨大地震と火山噴火
伊豆諸島周辺ではどのように想定されているか



都市環境学部 地理環境学科
鈴木毅彦 教授

東日本大震災の発生から10年以上が経過したが、日本周辺ではこの間にも引き続き地震や火山噴火が頻発している。

いま心配される南海トラフ巨大地震、首都直下地震、富士山・伊豆諸島噴火などの概要と最新の知見を、都立大学島嶼火山・都市災害研究センターの研究成果に学ぶ。

2日目 9月9日(金) 午後7時30分~9時

災害市民ボランティア論 ~東日本大震災以降の
東京都災害ボランティアセンターの取組みを踏まえて~

都市環境学部 都市政策科学科
市古太郎 教授

各地の災害現場で活躍する災害ボランティア。近年、国や東京都も平時から市民ボランティア団体との連携を推進している。

この講座では、三宅島の2000年噴火、2013年の台風26号による大島土砂災害での対応も踏まえ、災害ボランティアの意義と東京都災害ボランティアセンターの取組みについて学ぶ。



会場 八丈町商工会研修室 (八丈町役場内)

参加無料 申込不要

※健康チェック、マスク着用、手指の消毒など、新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください

主催:八丈島文化協会/東京都立大学 後援:八丈町教育委員会 お問い合わせ 090-8036-1826